

早稲田大学日本語教育学会

2025年度大会プログラム

9月 28日

日

13：00～17：20

早稲田大学早稲田キャンパス22号館2・5階

受付		12:30 ~		22号館2階エレベーター前	
開会式		13:00 ~ 13:10		201教室	
ポスター発表		13:20~15:30		502教室	
13:20~14:20 第 1 部					
複言語・複文化主義に立つ日本語学習支援はどのようにしてできるか ―実践者の意識の変容に着目して― 大森優 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)		日本語スピーキング評価におけるフィードバックコメントの傾向 ―日本語教師と生成 AI の比較から― 高久文枝 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 修士課程)		大学の日本語中級レベルのオンデマンド授業におけるフィードバックのあり方 大澤恵利・入山美保・水田佳歩 (早稲田大学日本語教育研究センター)	
14:30~15:30 第 2 部					
ウェルビーイングを取り入れたカリキュラム評価の新たな視点 ―ベトナムにおける理系学習者の日本語教育を事例に― グエン ティ トゥ フオン・グエン ティ トゥイ ズン・山川史 (ベトナム国家大学ハノイ校 日越大学)		中国の日本語教育現場における韻律指導の現状 ―大連の 3 大学における学習者アンケートを通して― 趙氷清 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)		依頼・断りコミュニケーションにおける【前提】に基づく「待遇理解」に関する考察 ―依頼主体と断り主体が語った「意識」から― 李欣悦 (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)	
教師はきくことの学習意義をどう捉えているか ―実践研究論文の文献調査から― ファム トゥアンチン (早稲田大学大学院日本語教育研究科 博士後期課程)					
口頭発表					
13:30~15:20		510教室・511教室			
13:30~14:00 第 1 部					
510教室		511教室			
他者との対話を通じた聴くことの多様性に関する一考察 ―自己認識が見られない場面に着目して― ファム トゥアンチン (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)		JSL 中学生の「読む」「書く」指導と生きる力を育む「ことばの学び」 ―対話におけるナラティブの視点から― 北村名美 (認定NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ)			
14:10~14:40 第 2 部					
510教室		511教室			
「ネイティブスピーカーの日本語」への投資意図の揺れと中断 ―一人の学習者の語りから見えるもの― 盧叢珊 (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)		教材開発における「専門性の三位一体モデル」の活用の可能性と課題 伴野崇生 (慶應義塾大学総合政策学部)			
14:50~15:20 第 3 部					
510教室					
言語間の境界線の制約を乗り越えるとは何を意味するか ―「残る／去る」という二項対立を超えるナラティブ・プラクティスの役割から考える― 李思儀 (早稲田大学大学院日本語教育研究科博士後期課程)					
交流ひろば					
15:00~16:00		206教室・207教室・208教室			
206教室		207教室			
JSL高校生の地域日本語教室における「ことば」の学びの実践報告 ―指導員の役割と子どもたちの「生き生きとした学び」を支えるために― 北村名美 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程修了)		考える力を育てる中級前半の会話科目 劉羅麟 (東京大学)			
多様な「声」が生まれる教室はどのように実現できるか 陳嵩杰 (早稲田大学大学院日本語教育研究科修士課程)		208教室 「よいフィードバックとは何か」―教師間コメントから見えてきた気付き― 李ジョン美・岡田朋美・杉本美穂 (早稲田大学日本語教育研究センター)			
企画					
15:30~17:00		201教室			
日研修了生が語る「日本語教育と私のキャリア」―修了生との対話を通して自身のキャリアを考える― 【企画者】伴野崇生 (慶應義塾大学)・飽本弘平 (早稲田大学)・古賀万紀子 (神田外語大学)・本間祥子 (千葉大学) 【発表者】大森優 (神田外語大学)・寺浦久仁香 (武蔵野美術大学)・吉田拓真 (出入国在留管理庁)					
総会・閉会式					
17:00~17:20		201教室			

[参加方法]

会員・非会員ともに、**事前申込**をお願いします。
右の参加申込用QRコードからお申込みください。
参加申込期間：**8/29(金)10：00～9/19(金)23:55**

【参加費】

学生会員・一般会員・維持会員：無料 非会員：500円
(事前申し込みの上、指定された口座にお振り込みをお願いします)

※予稿集は、9月22日(月)以降、本学会ホームページからダウンロード可能になります。
※＜お問い合わせ・入会手続き申請先＞早稲田大学日本語教育学会事務局 (wnkg-jimukyoku@list.waseda.jp)



参加申込用QRコード